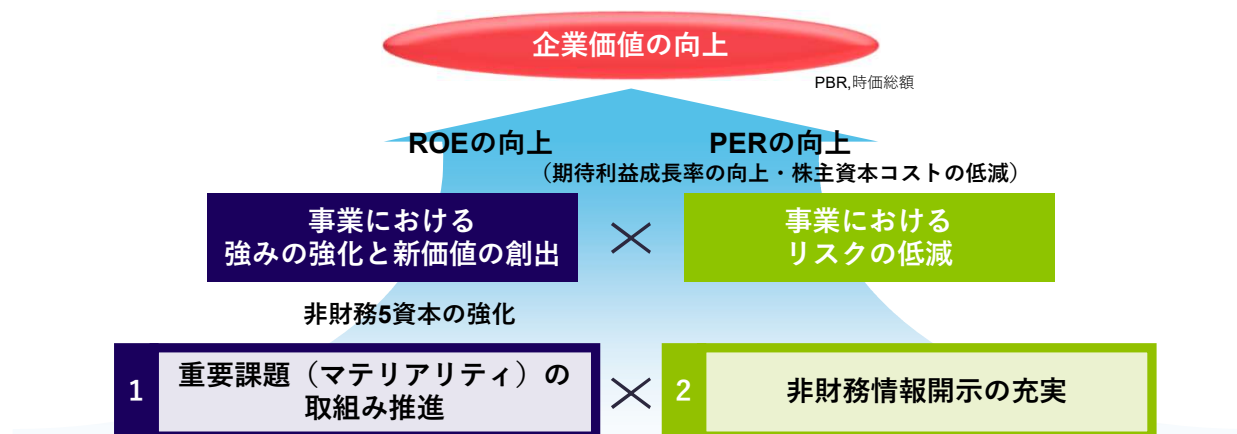


IR Day2025 セッション3
「サステナビリティ経営戦略」

NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社
2025年9月22日

サステナビリティ経営における企業価値向上の取り組みアプローチ



企業価値向上に向けてはサステナビリティ経営を通じ、事業の持続的成長と外部評価の向上が必要
NXグループでは、重要課題(マテリアリティ)の取り組み推進と、
ESG格付けなどの非財務情報開示の充実を図ることで、企業価値向上を目指している

2025年9月22日開催 IR Day

Copyright © 2025 NIPPON EXPRESS HOLDINGS, INC., All rights reserved.

NEX NIPPON
EXPRESS
We Find the Way

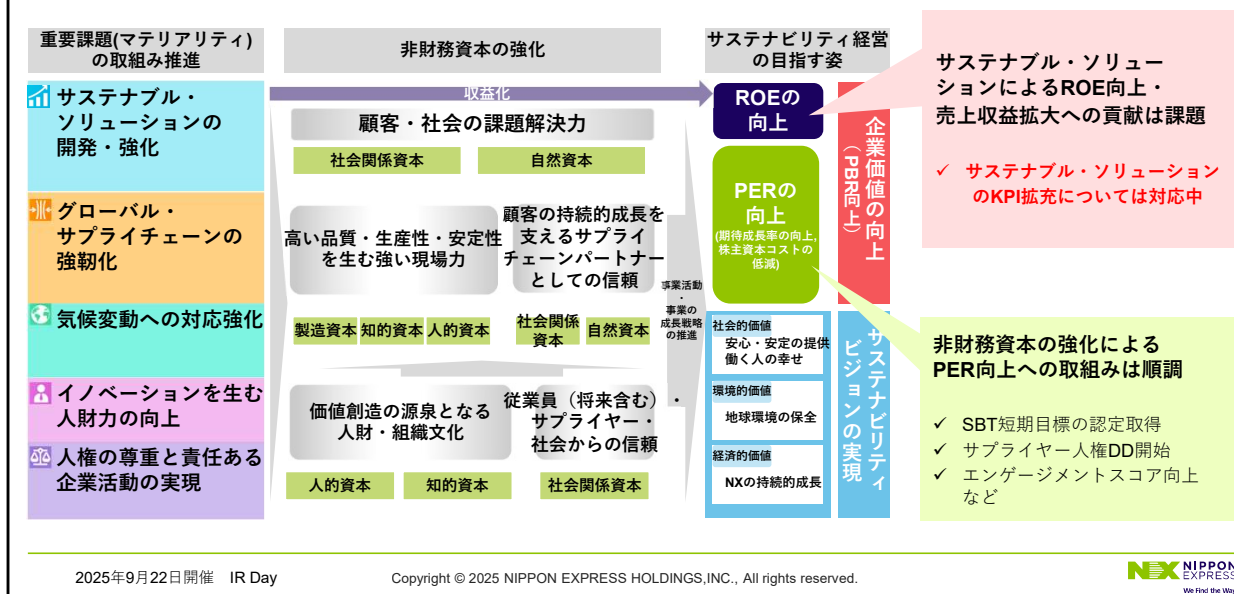
経営計画の重要戦略の一つとしてグループ全体でサステナビリティ経営の推進に取り組んで2年目に入りました。

こちらのスライドは、グループ会社一体となって企業価値向上へとつなげていくため、その道筋を改めて整理したものになります。

ご覧のとおり、①重要課題(マテリアリティ)の取り組み推進と ②非財務情報開示の充実の2軸がベースとなります。

この取り組みを進めることで、事業における強みの強化と新価値の創出、事業におけるリスクの低減を図り、ROE、PERの向上を目指してまいります。

2025年上期 重要課題（マテリアリティ）の推進状況 | サマリ



こちらのスライドは、2軸の一つである①重要課題(マテリアリティ)の取組みの推進状況となります。

重要課題への取組みにより、自然資本・社会関係資本・人的資本などの非財務資本の強化が進んできております。

具体的には、SBT短期目標の認定取得、サプライヤー人権デューデリジェンスの実施、エンゲージメントスコアの向上などの成果も出てきており、それによりPER向上への取組みは順調に進んでいると考えております。

一方、事業の成長に直結する「サステナブルソリューションの開発・強化」への取組みは道半ばであり、まだ課題があります。例えば、施策の一つである「鉄道・内航海運の上期の販売実績は年間目標達成の50%に満たないなど、ROE向上、売上収益拡大に向けては、さらなる強化が必要と捉えており、施策や推進状況の把握などを関係各所と検討が必要な状況です。

このような中、お客様の課題解決につながるサステナブルソリューションをEnd to Endでご提供する取組みを強化しており、後ほどご説明したいと思います。

2025年上期の成果と今後の実施事項 | 気候変動への対応・人権の尊重

	気候変動への対応	人権の尊重への取り組み
2025年上期の成果	✓ SBT短期目標の認定を取得 ■ 大手顧客の取引要件に適合 ✓ 排出量実績把握・PDCAを早期化 ■ 25年上期Scope1,2実績 360,000t-CO2 対目標53%	✓ 社内の人権リスクに対する予防是正の管理体制の整備完了 ※指標など ✓ サプライヤー人権デューデリジェンスを開始
今後の実施事項	✓ Scope1,2,3の削減・顧客要望への対応 ■ Scope1： 排出権取引制度対応を見据え、26年からの削減施策の実行に向けて日本通運での施策の具体化 → 「燃費KPI」の設定 ■ Scope2： LEDなどの既存削減施策の継続 ■ Scope3： 削減施策の検討中	✓ サプライヤー向け苦情処理窓口の開設 ■ 2026年度中の運用開始予定
気候変動：SBT短期目標の認定を取得、Scope1,2,3の削減・顧客要望への対応を強化していく 人権尊重：サプライヤー人権デューデリジェンスを開始		

2025年9月22日開催 IR Day

Copyright © 2025 NIPPON EXPRESS HOLDINGS, INC., All rights reserved.



1ページ目でご説明した①重要課題(マテリアリティ)への取り組み推進のうち、お客様や社会からの期待も高い、気候変動への対応、人権尊重の取り組みについて、上期の成果と今後の取り組みをご説明いたします。

まず、気候変動への対応です。

上期の成果としては2つあり、1つめは、SBT短期目標の認定です。

本年6月に認定を取得いたしましたが、外資のお客様を中心とした大手顧客の取引要件を満たすことで、機会損失を回避できる状態となったことに加え、一部取引が増え売り上げにも貢献するなど、POSITIVEな影響もでています。

2つめは、CO2排出実績把握・PDCAの早期化です。

昨年CO2排出管理の仕組みを導入し、今期からグループ全体で運用を開始いたしました。これにより、実績が早期に把握できることで可視化から削減施策の取り組みが加速しました。

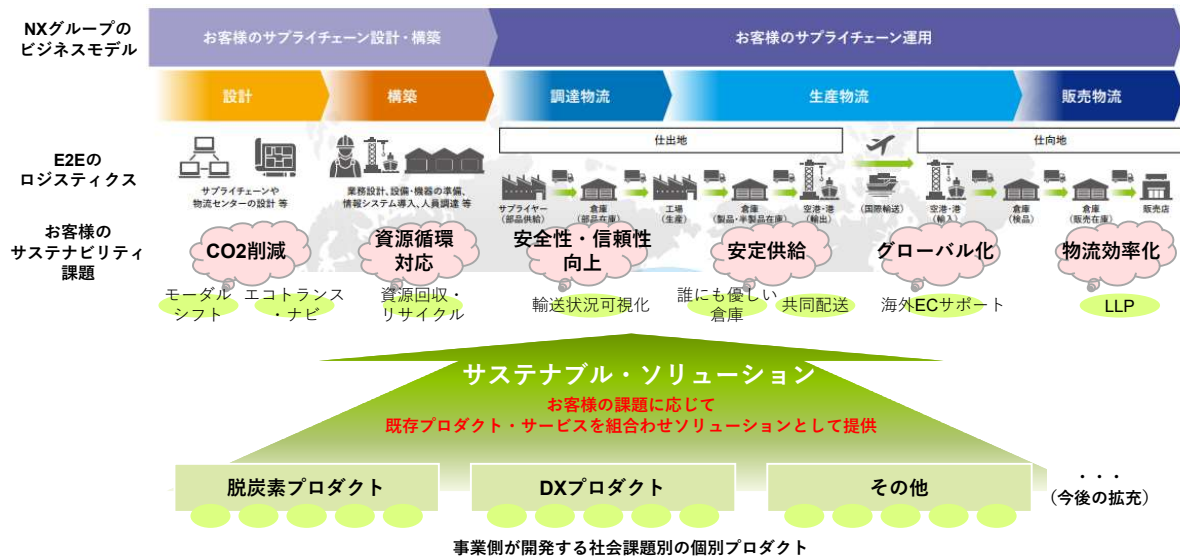
今後は目標達成に向け、削減への取り組みを着実に進めてまいります。

次に、人権尊重への取り組みです。

上期の主な成果は、主要グループ会社でサプライヤー人権DDを開始できたことです。

今後は、対象するサプライヤーを拡大するとともに、対外向けの苦情処理窓口の開設を進め、NXのサプライチェーン全体でのリスク低減に取り組んでまいります。

サステナブル・ソリューションによるお客様の課題解決・E2Eの推進



お客様のE2Eロジスティクスにおける様々なサステナビリティ課題を解決するのがサステナブル・ソリューション

2025年9月22日開催 IR Day

Copyright © 2025 NIPPON EXPRESS HOLDINGS, INC., All rights reserved.



こちらでは、サステナブルソリューションの推進状況についてご説明いたします。

NXグループのビジネスは、お客様のサプライチェーンをEnd to Endで支え、お客様の事業成長・企業価値向上に貢献するものであります。

中段に「サステナビリティ課題」の一例を明記しておりますが、環境に優しく、人にも優しい、持続可能なロジスティクスを実現することはお客様にとっての経営課題となっており、外資、国内大手のお客様からも、ご相談やお問い合わせが増えるなど、グローバルで物流を担うNXへ大きな期待が寄せられている状況です。

現在、このご期待にグループ一体となって応えるべく、取組みを進めております。

具体的には、お客様のサステナビリティ課題を大きく6つに分類・特定し、この6つの課題をもとに、お客様それぞれの課題に応じて、既存プロダクトやサービスを組み合わせ、「サステナブル・ソリューション」としてご提供するものです。

価格競争だけではなく、お客様のサステナビリティ課題の解決に共に取り組むことで新たな価値が創出され、付加価値を求められるお客様との取引増加やお客様の企業価値向上にも貢献できるものと考えております。

サステナブル・ソリューション事例 | 資源循環（建設業界静脈物流）



建設現場から排出される建材端材の運搬に係る運送コスト・CO2排出量の課題を、NRボックスなどの既存プロダクト・サービスを組合わせたソリューションにて解決

2025年9月22日開催 IR Day

Copyright © 2025 NIPPON EXPRESS HOLDINGS, INC., All rights reserved.

NEX NIPPON EXPRESS
We Find the Way

ここで、よりイメージいただけるよう、建設業界における「サステナブル・ソリューション」事例をご紹介します。

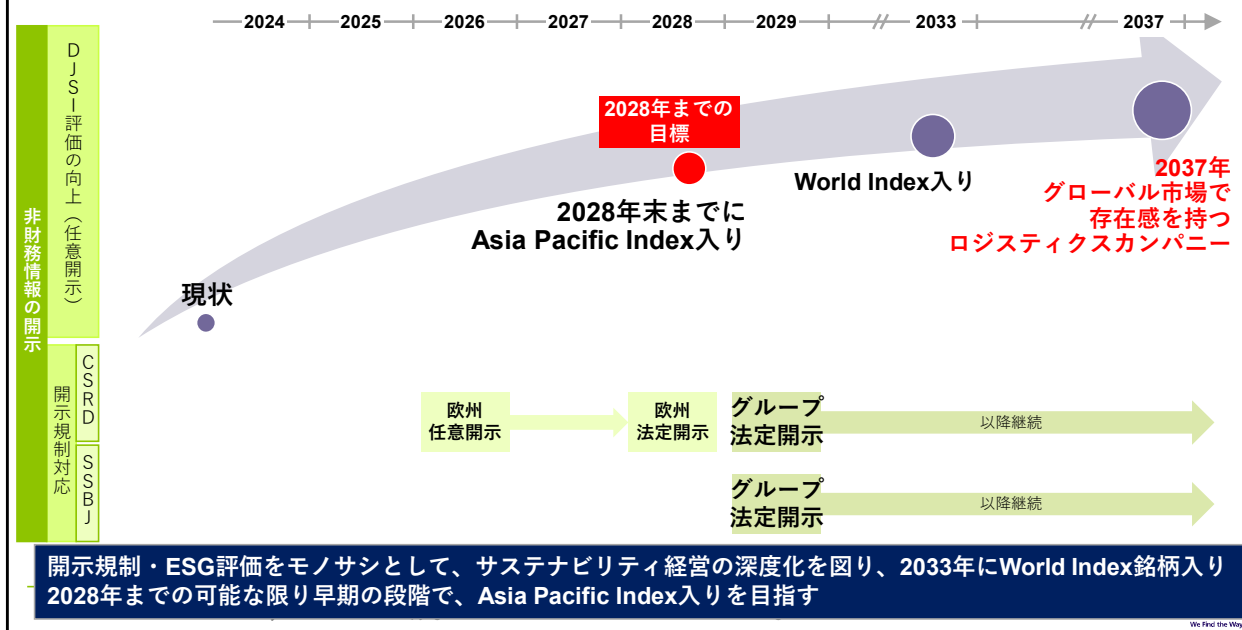
建設業界の課題として、個々の現場から排出される建築端材は多種多様で分別リサイクルが困難であったこと、個々の現場から再資源化施設に運搬する場合、運搬コストの高さとCO2排出量の増加が課題となっていました。

NXはこの課題に対して、複数現場を同一車両で巡回回収し、自社開発のかご台車「NRBOX」の活用で、品目ごとの再資源化施設にまとめて二次輸送するご提案を行い、お客様と共に、「巡回回収システム」を開発しました。

これはNXのプロダクトとサービスを組み合わせたご提案によるお客様との共創事例であり、建設業界と物流業界における環境負荷の低減、循環型社会に貢献する「サステナブル・ソリューション」の一例となります。

今後、NXの強みを最大限に活かしながらこのサステナブルソリューションの取組みをしっかりと進め、売上拡大とともに、利益率向上を図り、ROE向上につなげてまいります。

DJSI評価向上の取組み目標



次に、外部評価向上への取組みについてご説明いたします。

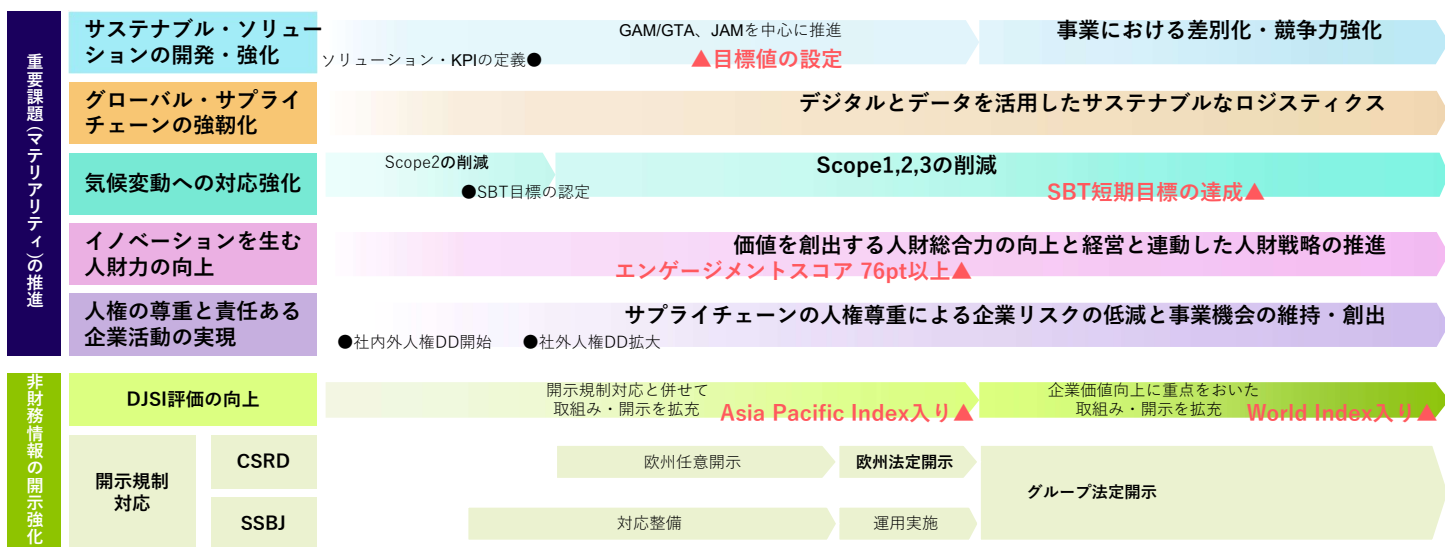
PER向上、特に株主資本コストの低減においては、ESG評価機関に評価される仕組みを整え・取組みを進めることも重要と考えております。

NXグループでは、開示規制・ESG評価をモノサシとして、サステナビリティ経営の深度化を図り、2033年にWorld Index銘柄入り、2028年までの可能な限り早期の段階で、Asia Pacific Index入りを目指します。

サステナビリティ経営推進の長期ロードマップ

2024 2025 2026 2027 2028 2029 2030 2037

長期ビジョンの実現 ■
グローバル市場で存在感を持つロジスティクスカンパニー



開示規制や気候・人権などのサステナビリティ課題に対応しつつ、人的資本の強化、事業のDXやお客様課題を解決するソリューションの提供を通じて、ROE・PERの向上を図っていく

最後に、サステナビリティ経営推進の長期ロードマップについてご説明いたします。

NXグループの長期ビジョン、「グローバル市場で存在感を持つロジスティクスカンパニー」、の実現に向けて、

①重要課題(マテリアリティ)の取組み推進、②非財務情報開示の充実の2軸において、それぞれマイルストーンを設定いたしました。

サステナビリティ経営の推進にてそれらを着実に達成していくことで、ROE、PERの向上、企業価値向上を図ってまいります。



本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。
また、本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点での弊社の判断であり、
その情報の正確性を保証するものではなく、今後、予告無しに変更されることがあります。
万一、この情報に基づいて、こうむったいかなる損害についても、
弊社及び情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おきください。